

上田市都市計画マスタープラン地域別構想 丸子地域（修正案）

(1) 将来像

(将来像)

**水辺、里山、人きらめき、産業活力が満ちた
依田川流域のまち**

(基本目標)

- 製造業の集積が高い地域であることから、職住近接のゆとりある生活空間の創出をめざすとともに、地域内外の交流促進や日常生活のための道路交通環境整備を進めます。
- 依田川、内村川周辺に親水空間を創出し、里山、農地とあわせて良好な自然環境や景観の保全を図り有効活用を進めます。
- 丸子温泉郷や信州国際音楽村などの観光・文化資源の効果的な連携と活用を図りながら、地域内外の交流の促進をめざします。

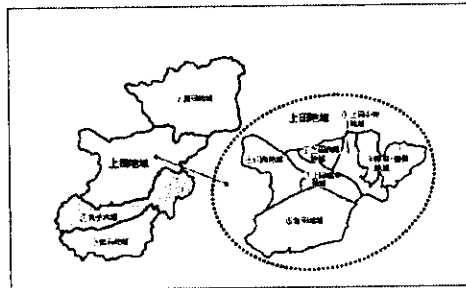
(2) 現状と課題

I 地域の現況

市内でも有数の製造業の集積地となっています。

国道 152 号や 254 号が通る交通の要衝であるほか、地域の中央には依田川が流れ、豊かな自然環境の中に信州国際音楽村や温泉療養地である丸子温泉郷などの観光地が点在しています。

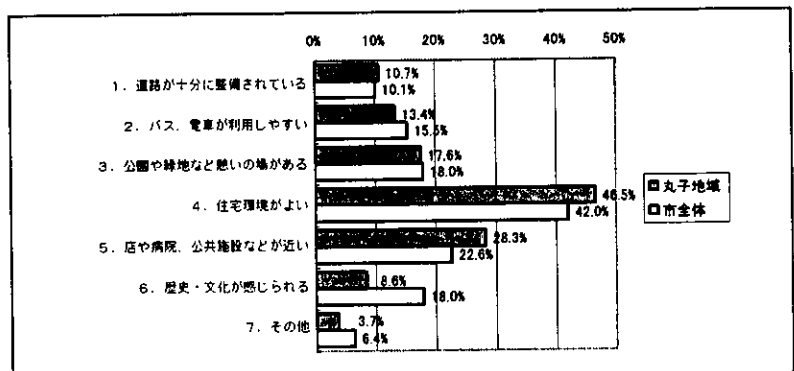
また、国道 152 号及び市道下丸子腰越線沿いの周辺では商業・業務施設や商店街、公共施設などの都市機能が集積した沿道型市街地を形成しています。



II アンケート結果

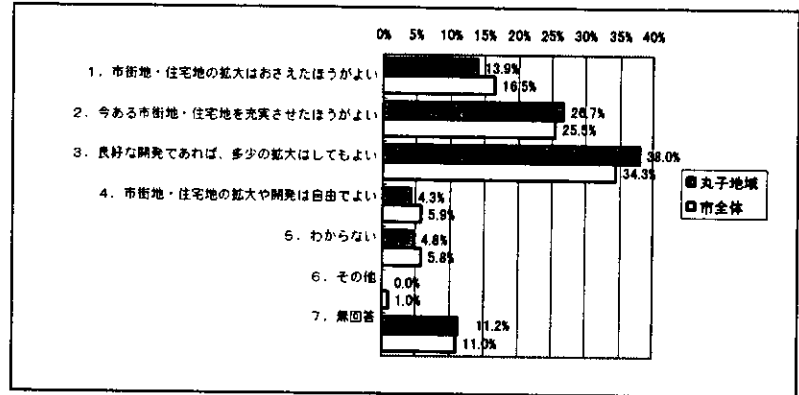
①満足している点について

- 住環境が最も高く、次いで生活利便施設に対する満足度が高くなっています。
- 歴史・文化への満足度の割合については、市全体を大きく下回っています。



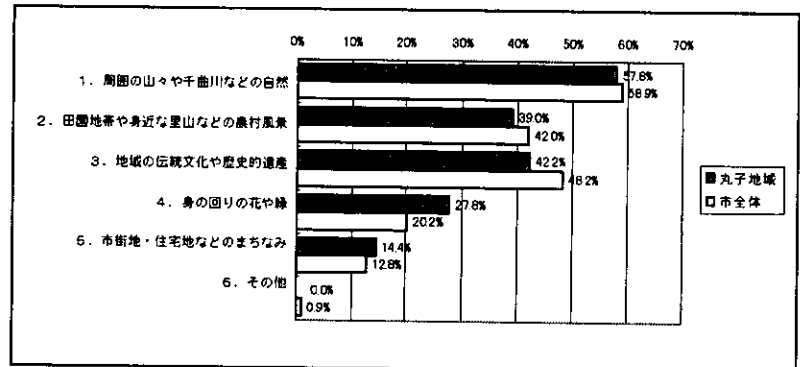
②地域に市街地や住宅地が拡大することについて

○良好な開発であれば多少の拡大はしてもよいとの意向が最も高く、次いで、今ある市街地・住宅地の充実という回答が高くなっています。



③大切にしたい景観について

○山々や河川などの自然景観、伝統文化や歴史的遺産、田園・農村風景の順で、大切にしたい意識が大変高くなっています。
○身の回りの花や緑に対する意識については、市全体と比べて、より高くなっています。



Ⅲ 地域の都市づくりにおける主要課題

○土地利用について

- ・丸子地域の中心市街地では、既存の都市機能集積を活かして、居住と交流の機能を充実させていく必要があります。
- ・カネボウ丸子工場跡地は、交流と賑わいの創出をめざした土地利用を誘導することが必要です。

○道路や公共交通について

- ・決定以来、長期未着手となっている都市計画道路の見直しを行う必要があります。
- ・通過交通による騒音や渋滞の改善、また、地域間交流の促進に向けて、国道152号バイパス、上田都市環状道路などの骨格的な道路整備を促進することが必要です。
- ・誰もが利用しやすい移動手段として、公共交通の維持と利便性の向上が必要です。
- ・工業団地では、産業集積による活性化を図るため、交通環境の整備を促進する必要があります。

○自然環境や景観について

- ・依田川や内村川などの河川環境を保全しながら、水辺空間として地域住民の健康づくりや観光並びに交流へと活用していく必要があります。
- ・丸子八景をはじめとする美しい自然景観、史跡・文化財などの景観を保全することが必要です。

○地域拠点の形成

- ・地域自治センター周辺は都市機能集積を活かした生活拠点として、また、カネボウ丸子工場跡地、丸子文化会館や信州国際音楽村などでは、賑わいと交流を生む拠点として機能の充実が必要です。

○生活環境の保全や防災に関する整備について

- ・安全で快適な暮らしができるよう、水害や土砂災害などへの備え、また、狭隘道路の整備など住環境の向上が必要です。

(3) 都市づくり方針

(◆…全体構想の重点課題に係る課題)

I 都市基盤の形成方針

①土地利用の誘導方針

森林、農地、河川等の豊かな自然環境の保全を図るとともに、各種産業の活性化を促す土地利用を計画的に進め、職住近接のゆとりある居住環境の形成をめざします。また、丸子中心市街地では、既存の都市機能集積を活かした暮らしやすい生活拠点形成をめざします。

〔具体的な方針〕

- ◆カネボウ丸子工場跡地は、商業施設、福祉施設、公共施設などが集積されていることから、複合用途系ゾーンとして交流と賑わいの創出をめざした土地利用を進めます。また、土地利用方針を踏まえて用途地域の見直しを検討します。
- ◆中丸子、下丸子地区をはじめとする地域内の農業・集落ゾーンでは、農地の無秩序な宅地化を抑制するルールづくりの検討を進めます。
 - ・上田地域の上田リサーチパーク周辺から千曲ビューラインを軸とするや南原、平戸、下丸子、箱畳、神の倉などの各工業団地は、産業・研究ゾーンとして、産業軸を形成しながら企業の集積を図ります。
 - ・上丸子商店街及びその周辺では、商業機能やまちなか居住を充実するための土地利用や交通環境整備について検討を進めます。
 - ・陣場地区では、ぶどう団地整備など遊休荒廃農地の対策を進め、天火山マレットゴルフ場、畜産団地、埋立地を含めた一体としての土地利用の検討を進めます。
 - ・地域内にある一団の優良農地は農業施策と連携して保全を図ります。

②道路や公共交通の整備方針

地域内の国道 152 号と国道 254 号の通過交通が引き起こす騒音や渋滞の改善に向けて、国道 152 号バイパス、上田都市環状道路、依田川左岸道路、国道 254 号整備などの地域の骨格を成す道路整備を促進し、地域間交流の促進と通過交通の分散化による住民の安全、安心な生活環境の向上や工場団地が集積する産業軸の強化を図ります。

〔具体的な方針〕

- ◆都市計画道路については、将来的な交通量の推計などから必要性を検証し、腰越石井線（長瀬～塩川間）をはじめとした長期にわたり未着手となっている路線の見直しを進めます。
 - ・広域交通の充実と丸子市街地へ集中する交通の分散のため、国道 152 号バイパスや上田都市環状道路及び依田川左岸道路の整備を促進します。
 - ・通勤、通学時の渋滞対策、大屋駅への利便性などのため、国道 152 号の交差点改良を促進します。
 - ・国道 254 号は、集落を迂回するミニバイパスなどをはじめとする整備について、緊急を要する箇所から順次進めます。
 - ・地域内の幹線市道などの整備を促進します。（市道西村線、市道丸子北御牧線、市道箱畳線など）
 - ・路線バス運行の維持や循環バスの利便性向上に向けた運行の見直しを進めます。

- ・地域内外との連絡強化を図るため、平井寺トンネルについて市民利用の負担軽減の検討をします。
- ・他市町村間を連絡する県道のほか、千曲ビューライン（市道丸子北御牧線）の沿線に形成している工業団地による産業軸にアクセスし、物流、通勤などの利便性を高める道路の整備を促進します。（上田都市環状道路、（主）丸子東部インター線、県道別所丸子線、県道芦田大屋（停）線、県道南原長瀬線、千曲ビューライン舗装補修など）

II 地域資源の保全・活用及び拠点の整備方針

①自然・環境、景観の保全・活用方針

それぞれに特徴のある千曲川・依田川・内村川の水辺や、里山・段丘緑地の自然を大切に保全しながら、親水空間や自然体験できる環境の創出をめざします。また、農地を保全するとともに、個々の場所に合った適切な規制・誘導方法を取り入れながら、自然と調和する市街地及び集落環境の形成をめざします。

〔具体的な方針〕

- ◆環境や景観及び住環境を保全するため、建築物の外観や色彩、高さ等に関するルールづくりが必要な場所などについて地域住民と協議します。
- ・依田川や内村川の水辺空間の環境、景観の保全については住民協働で取り組みます。
- ・農地や里山は地域の大切な環境、景観としてできる限り活用しながら保全していきます。
- ・丸子八景をはじめとする自然景観や、史跡、文化財や周辺の景観を保全していきます。
- ・幹線道路など沿道の自然景観の保全に配慮すべき場所では、景観形成の施策を検討します。

②地域拠点の形成方針

自治センターを中心とした生活複合拠点を形成と、観光の来訪者や地域住民の交流の拠点となる施設整備など、それぞれの拠点の結びつきを強めながら地域の活性化と潤いある生活環境を創出します。

〔具体的な方針〕

- ・地域自治センター周辺は、行政機能、商業機能等が集積しており地域生活複合拠点として形成を図ります。上丸子商店街では商業機能を充実し、買い物、通院の利便性や安全性を向上するための道路の利用方法や交通環境整備について検討を進めます。
- ・鹿教湯温泉を中心とした丸子温泉郷では、新たに建設された鹿教湯温泉交流センターの活用やその周辺の道路など施設整備を促進します。
- ・依田川と内村川の合流点付近では親水空間を整備し、ウォーキング道路やつゆくさ橋、りんどう橋、総合グランドなどの活用による親水ネットワークの形成を図ります。
- ・カネボウ丸子工場跡地は、賑わいを創出する地域交流拠点として親水公園、敷地内道路、周辺の生活道路、ウォーキングロードなどの環境整備を進めます。
- ・信州国際音楽村は文化・交流拠点として市内外から多くの人々が訪れ活用されるよう、公園や道路などの施設整備を促進します。

Ⅲ 生活環境の保全や防災に関する整備の方針

農地や里山と調和した良好な住環境を守りながら、災害に強く安全で安心な居住環境を創出します。

〔具体的な方針〕

- ・大型車両や渋滞に伴う騒音を軽減することにより沿道の住環境向上をめざします。
- ・身近な生活道路の狭隘個所の整備などを進め、住環境の向上をめざします。
- ・老朽化が著しい石井地区の県営住宅団地の建替えを促進していきます。
- ・水害対策として、依田川、内村川、矢の沢川など河川の危険個所の改修事業を推進するほか、丸子中心市街地及び周辺地区における家屋等への浸水防止対策の検討を進めます。
- ・砂防河川、急傾斜地、地すべり地域における土砂災害の防止対策を推進します。
- ・公共施設の連携を図り利用促進と利便性を高め、活力ある地域づくりを進めます。

(地域別構想の方針図 作成中)